

住民説明会③ 平尾中学校校区

日時：令和 7 年 10 月 20 日(月)

開始：19：00 終了：20：43

場所：平尾ふれあいセンター

参加者：31 人

- 平尾中学校の生徒が鷹巣中学校までバスで 40 分かかるという設定は長すぎる。より短時間での運行を工夫すべき。浜瀧からは 51 分とさらに長く、遠回りしている。三船・鷹巣中ルートなど、工夫できないか。

答 15 ページに記載の所要時間は地図上の概算。本数を増やせば短縮可能だが、スクールバスでの対応が大前提として計画した。今回の計画は素人考えで作った部分もあり、今後、関係者を集めて運行計画を再検討し、問題がないようにする。

- 計画のバス 12 台では不足し、最短運行や部活動を考慮すると 15 台程度必要ではないか。費用もさらにかかるのではないか。

答 必要台数や費用については、今後関係者で検討し、台数が不足しないようにしたい。

- 配られたアンケート用紙に中学校（J3、J2 など）と通し番号が振られており、誰が書いたか特定できる。保護者は特定を恐れて意見を書きにくい状況がある。

答 番号は、コピーして複数枚出されるのを防ぐため、枚数を特定するために振っている。確認はできるが、公表したり特定したりすることはない。

- 議会で鷹巣中案（第一案）が否決された後、長島高校跡地案（第二案）で進めるようだが、新聞報道で鷹巣中に決まったと報じられた。町長が鷹巣中を強く推す理由は、長高案の解体費 5 億円が大きいのが、解体費には補助事業があると聞いている。5 億円が出せないのか。

- PTA アンケートでも長高案への賛成が多い。住民が反対している統合を強行しないでほしい。教育長はなぜ長高案も一緒に説明しないのか。

答 計画の定義で鷹巣中案を第一案とし推進するということで合意がなされているため、その順番通りに説明している。まずは第一案で進め、説明を行う。

○ 以前は鷹巣中案（18 億円）が長高案（23 億円）より安かったが、今回の資料では鷹巣中案が 28 億円となり、長高案より 5 億円高い。なぜ高い案を進めるのか。

答 以前の概算では、長高案は 40 億円、鷹巣中案は 18 億円だった。ワークショップを経て、鷹巣中案は 28 億円の増額された。長高案はまだ具体的な学校像が検討できていないため、正確な金額は算定できていないが、今後検討する。

○ 鷹巣中は狭い。長高跡地の方が広い。鷹巣中案では工事をしながら授業を行う 3 年間、生徒に迷惑がかかる。長高跡地を使えば、安全に工事ができる。

○ 鷹巣中案では、仮設校舎建設に 1 億円かかるが無駄ではないか。

答 仮設校舎の費用は基本計画に含まれていなかったが、ワークショップの結果を踏まえ、金額が変わったため今回説明している。

○ 鷹巣中のグラウンドで野球とサッカーと一緒に練習できるのか。敷地が狭く困難ではないか。できないなら、その欠点も説明すべき。

答 周辺のグラウンド等も活用する想定。部活動については、統合決定後に希望調査を行い再編するため、現時点では何がある、何をすることとは決まっていない。

○ 鷹巣中案での野球・サッカー同時練習の可否について、はっきり説明すべき。

答（教育長） 過去はグラウンドでソフトテニス、陸上、バレーボールなどが行われていた。

○ 平日の放課後、学校が町の体育施設や運動場を部活で借りたことは過去にない。町体の活用は土日の試合時だけで、平日は活用できないのではないか。

○ 部活動が地域移行した場合、周辺施設などへスクールバスで送迎するのか。学校発着の運行計画では対応できないと思うが。

答 現在の計画案ではスクールバスは学校発着でしか考えていない。地域での活動への対応は、今後の検討課題とする。地域行事やクラブチーム活動への送迎は対象外となる。

- 少子化が進む将来を見越し、鷹巣中への統合ではなく、長島高校跡地に小中一貫教育（義務教育学校）を目指した学校を整備すべきではないか。

答 小学校と中学校は教育制度が異なり、小学校統合は地域に根ざした学校という側面からかなりの時間を要する。まずは中学校統合を先行させたい。

- 鷹巣中にはプールがなく、町民プールまで遠い。水泳の時間が無駄になり、行き帰りのリスクもある。

答 敷地がないためプール設置は困難。現状、町民プールを利用しており、学校生活は送れているため、現状のままとしている。この点も住民からの反対意見として教育委員会等に上げる。

- 鷹巣中案は「お金は払ってしまえば終わり」だが、子どもたちに一生不便な思いをさせる。ただ5億円出せないという理由だけで決めてはいけない。

- 住民理解が本当に進んでいるか確認するため、改めてアンケート調査などの意向確認を行う意思があるか。

答 現在、鷹巣中案が第一案として説明会を行っている。この説明を続けていく。（意向確認の再実施については明言せず。）

- 鷹巣中案 28 億円が長高案 23 億円より高いという認識で間違いないか。

答 当初、長島高校跡地案は 40 億円、鷹巣中案は 18 億円で、鷹巣中案が安かった。今回はワークショップを経て鷹巣中案が 28 億円になったが、それでも長島高校跡地案の方が高い。長島高校跡地案の具体的な学校像はまだ検討しておらず、算出できていない。

- 新聞報道では「鷹巣中に決まった」とあるが、町長が強く推し進めているように思える。住民が反対している鷹巣中学校への統合を強行しないでほしい。PTA のアンケート結果を見ても、鷹巣地区の人でさえ 20%から 25%程が長高案（長島高校跡地）に賛成している。川床地区は 60%程長高案に賛成、旧長島町側はほぼ 100%長高案という状況である。住民投票を実施すれば鷹巣地区の人口が多いため、互角の戦いになるのかなと思う。（意見）

- なぜ鷹巣中案・長高案と一緒に説明しないのか。教育委員会はなぜ町長に押され気味で鷹巣中案に決めたのか。鷹巣中の方が良い理由を住民に対して説明する会がなされていない。鷹巣中案だけ住民に説明しているのは不平等、不公平ではないか。

答 計画の定義として鷹巣中案を第一案とし、推進するということで合意がなされているため、現在このように鷹巣中案を説明している。

- それでは決まったような話ではないか。長高案もやはり説明しないといけないのではないか。

答 まずは第一案を説明するという事で、合意がなされているため、説明をしているところである。

- 住民理解が本当に進んだのか、反対を押し切っているのではないか。教育委員会は、住民理解が進んでいるかを確認するアンケート調査などをやる意思があるのか。反対を押し切って進めるのはおかしい。

答 前回、住民説明会を行って長島町総合教育会議の後、鷹巣中学校案を第一案、長高案を第二案という方向になっているため、その順番通り進めて行きたいと思う。

- やはり、住民投票で民意をはかる必要があると思う。（意見）